【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-141727(P2019-141727A)
【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)
【年通号数】公開・登録公報2019-035
【出願番号】特願2019-105497(P2019-105497)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月30日(2019.7.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１ケース体と第２ケース体とを合わせて形成される基板収容部に遊技に関する所定の制御を司る制御基板を収容する遊技機用基板収容ケースを備えた遊技機において、
前記遊技機用基板収容ケースは、前記第１ケース体および前記第２ケース体を封止して当該遊技機用基板収容ケースを開封不可とする封止手段を備え、
前記封止手段は、
前記第１ケース体と前記第２ケース体とを合わせた状態で連通形成された係止穴を有する、前記基板収容部とは別に設けられた被封止部と、
前記被封止部の前記係止穴に挿入されて係止される係止部材と、
前記被封止部の前記係止穴に前記係止部材が挿入されて係止された状態にて、前記係止部材が前記係止穴に挿入される方向から充填され、当該被封止部を構成する前記第１ケース体の一部と前記係止部材とが対向し且つ前記第２ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した状態で硬化された硬化樹脂と、
を備え、
前記第１ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した前記硬化樹脂と、前記第２ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した前記硬化樹脂とは、前記対向する方向における前記硬化樹脂の厚みが異なり、
前記第１ケース体および前記第２ケース体は、前記基板収容部と前記被封止部とを連結支持する支持部を備え、
前記第１ケース体および前記第２ケース体の支持部の少なくとも一方は、前記被封止部よりも脆弱な脆弱支持部である
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】

すなわち、請求項１に記載の発明は、
第１ケース体と第２ケース体とを合わせて形成される基板収容部に遊技に関する所定の制御を司る制御基板を収容する遊技機用基板収容ケースを備えた遊技機において、
前記遊技機用基板収容ケースは、前記第１ケース体および前記第２ケース体を封止して当該遊技機用基板収容ケースを開封不可とする封止手段を備え、
前記封止手段は、
前記第１ケース体と前記第２ケース体とを合わせた状態で連通形成された係止穴を有する、前記基板収容部とは別に設けられた被封止部と、
前記被封止部の前記係止穴に挿入されて係止される係止部材と、
前記被封止部の前記係止穴に前記係止部材が挿入されて係止された状態にて、前記係止部材が前記係止穴に挿入される方向から充填され、当該被封止部を構成する前記第１ケース体の一部と前記係止部材とが対向し且つ前記第２ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した状態で硬化された硬化樹脂と、
を備え、
前記第１ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した前記硬化樹脂と、前記第２ケース体の一部と前記係止部材とが対向する箇所に付着した前記硬化樹脂とは、前記対向する方向における前記硬化樹脂の厚みが異なり、
前記第１ケース体および前記第２ケース体は、前記基板収容部と前記被封止部とを連結支持する支持部を備え、
前記第１ケース体および前記第２ケース体の支持部の少なくとも一方は、前記被封止部よりも脆弱な脆弱支持部である
ことを特徴とするものである。